2020年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生選考試験

学科試験　問題

(研究留学生用)

日　本　語

注意　☆ 試験時間は１２０分

☆ 答えは全て解答用紙に記入すること。

☆ 問題はA（初級）、B（中級）、C（上級）の三つあります。

(2020)

日本語

国籍 Nationality		番号 No.	
氏名 Name	(フルネームを書いて、姓に下線を引くこと。 Please print your full name, underlining your family name.)		

点数 Marks	

問　題

A

Elementary Level

Ⅰ ＿＿＿＿に 入る 一ばん てきとうな ものを A～Dの中から ひとつ えらびなさい。

（れい） わたしは 日本語＿＿＿＿ 勉強しています。 A が　　B を　　C に　　D へ

1 山田さんは あたまが ＿＿＿＿ しんせつです。
A いいで　B いいと　C よくて　D よいと

2 ナムさんは ＿＿＿＿ スープを 飲みました。
A おいしいで　B おいしいに　C おいしそうで　D おいしそうに

3 たいふうのため、あしたの 旅行は ＿＿＿＿します。
A そつぎょう　B ちゅうし　C にゅういん　D れんしゅう

4 ぜひ わたしの 国へ ＿＿＿＿ 来てください。
A あそびに　B あそぶ　C あそんで　D あそんだ

5 すみません、作文の 日本語を ＿＿＿＿してもらえますか。
A チック　B チャック　C チェック　D チョーク

6 この たてものは 木＿＿＿＿ つくられています。
A で　B と　C に　D を

7 １度だけ、東京に ＿＿＿＿ことが あります。
A 行きたい　B 行こう　C 行って　D 行った

8 あの 人は 学生の＿＿＿＿です。
A そう　B みたい　C よう　D らしい

9 「なるほど」は ＿＿＿＿ いみですか。
A どういう　B どうして　C どうやって　D どのぐらい

10　田中先生、先週、先生に ＿＿＿＿ 本は　とても　おもしろかったです。

A　おかりした　　B　おかりになった

C　かりたがった　　D　かりてくれた

Ⅱ ＿＿＿＿と　一ばん　かんけいが　ある　ものを　A〜Dの中から　ひとつ　えらびなさい。

（れい）　けさ　コーヒーを　のみました。

A　きょうの　あさ

B　きょうの　ゆうがた

C　きのうの　あさ

D　きのうの　ゆうがた

1　きょうは　月よう日です。あさって　山田さんに　会います。

A　火よう日　　B　金よう日　　C　水よう日　　D　木よう日

2　来月、父と母が　日本に　来ます。

A　きょうだい　　B　せいと　　C　せんぱい　　D　りょうしん

3　わたしたちは　きのう　7時に　しゅっぱつしました。

A　つきました　　B　でました　　C　ねました　　D　とまりました

4　山田さんは　ごぞんじですか。

A　会いますか　　B　来ますか

C　話しますか　　D　しっていますか

5　雨が　ふりだしました。

A　つよく　ふりました　　B　ふりそうです

C　ふりはじめました　　D　やみました

6　きのうの　テストは　とても　やさしかったです。

A　あんぜんでした　　B　かんたんでした

C　しんぱいでした　　D　ひつようでした

7　山田さんは　「ただいま」と　言いました。

A　いえに　かえりました　　B　ごはんを　食べました

C　先生の　いえに　行きました　　D　友だちに　会いました

8　ヨウさんが　けっせきするのは　めずらしいです。

A　いいことです　　B　ほとんど　ありません

C　やめてほしいです　　D　よく　あります

9　そんな　ことばを　つかっちゃ　いけません。

A　つかうように　してください　　B　つかってみてください

C　つかわないでください　　D　つかわなければ　なりません

10　あの　人が　おこるはずがありません。

A　おこらないと　おもいます　　B　おこられませんでした

C　おこるかどうか　わかりません　　D　おこるだろうと　おもいます

Ⅲ　＿＿＿＿に　入る　一ばん　てきとうな　ものを　A～Dの中から　ひとつ　えらびなさい。

1　田中さん：「山田さんと　いっしょに　しごとが　できて　よかったです。」
山田さん：「ありがとうございます。わたしも　そう　おもいます。」
田中さん：「＿＿＿＿。また、よろしく　おねがいします。」

A　おかげさまで　　B　しつれいしました

C　おせわになりました　　D　ごめんなさい

2　田中さん：「このあと、いっしょに　しょくじに　行きませんか。」
山田さん：「すみません。＿＿＿＿＿、きょうは　むすこの　たんじょう日なんです。」
田中さん：「ああ、そうなんですか。じゃあ、また　こんど。」

A　ざんねんですが　　B　つまらないですが
C　おきのどくですが　　D　おねがいですが

3　ユカさん：「きれいな　うみですね。ここで　いっしょに　しゃしんを
とりませんか。」
エミさん：「＿＿＿＿＿。」
ユカさん：「じゃあ、ミキさんに　とってもらいましょう。ミキさん、ちょっと
おねがいが　あるのですが……。」

A　わたしが　とってあげます　　B　べつの　ばしょなら　いいですよ
C　ここは　ちょっと……　　D　もちろん、いいですよ

4　田中さん：「あしたは　何時に　会いましょうか。」
山田さん：「そうですね。えいがが　１４時４０分だから、１４時２０分に
えいがかんの前は　どうですか。」
田中さん：「ううん、もう　ちょっと　＿＿＿＿＿。飲み物を　買いたいので。」
山田さん：「あ、そうですね。じゃあ、１４時１０分に　しますか。」
田中さん：「ええ、そう　しましょう。」

A　早い方が　いいですか
B　早い方が　よくないですか
C　遅い方が　いいじゃないですか
D　遅い方が　よくないですか

5　デパートの店員：「いらっしゃいませ。」
田中さん：　　「すみません、旅行かばんは　どの　かいですか。」
デパートの店員：「＿＿＿＿＿でしたら、４かいでございます。少し　分かりにくい
ばしょなので、ごあんないします。」

A　ここ　　B　そこ
C　これ　　D　それ

Ⅳ ＿＿＿の　ひらがなと　おなじ　漢字で　書く　ものを　A～Dの中から　ひとつ　えらびなさい。

（れい）　漢字で　＿か＿きます。
　　A　スーパーで　＿か＿い物を　します。
　　B　今日は　＿か＿よう日です。
　　C　今から　図＿しょ＿館へ　行きます。
　　D　本を　＿よ＿みます。

－－－

4　部屋が　あか るいです。

A　まどを　あ けてください。

B　あ けまして　おめでとうございます。

C　顔が　あか く　なりました。

D　日本の　ふじさんは　有 めい です。

5　雨が　きゅう に　ふりました。

A　むこうから　きゅう 行電車が　来ました。

B　これを　作るのに　きゅう 年　かかりました。

C　明日は　学校を　やす みます。

D　私は　日本文化の　研 きゅう を　しています。

V　つぎの　文を　読んで、後の　問いに　答えなさい。答えは　A～Dの中から一ばん　てきとうな　ものを　ひとつ　えらびなさい。

（1）「弁当」を食べたことがありますか。「弁当」は昔の中国語から来た言葉です。日本では、平安時代（約1100年前）から弁当があったそうです。現在でも食べられる「幕の内弁当」は江戸時代（約400年前）に歌舞伎の休み時間に食べていた弁当です。このころには、すでに弁当の作り方についての本がたくさんあったそうです。

問い1　文の内容に合っているものはどれですか。

A　弁当という言葉は、日本で作られた言葉です。

B　幕の内弁当は特別な弁当なので、現在は食べられません。

C　幕の内弁当は、平安時代にできました。

D　江戸時代には、弁当の作り方を説明した本がありました。

（２）昨日、私は日傘を買いました。日傘というのは、晴れの日にさす傘のことです。日本の夏はとても暑いので、外を歩いていると、頭が痛くなったり、気分が悪くなったりします。だから、日本では、夏、雨が降っていなくても傘をさすのです。私が買った日傘は、白くて、きれいな花の絵がついています。暑い日は出かけるのが大変ですが、きれいな花のデザインを見ると、楽しい気分になります。私の国では、晴れの日に傘をさしませんが、今度、私の家族や友だちに日傘のよさを教えてあげようと思います。

問い２　文の内容に合っているものはどれですか。

A　私は暑い日に外を歩いたので、病気になりました。

B　私は日傘に白くてきれいな花をつけました。

C　日傘は、雨が降っていない日にさす傘のことです。

D　私の家族や友だちは日傘をさしたことがあります。

（３）昔から、日本の食事は「一汁三菜」がいいと言われます。「汁」はスープという意味で、「菜」は料理という意味です。ご飯の他に、スープと３つの料理があれば、いい食事になるということです。日本では、季節の美しさを料理で見せることが大切だと言われています。だから、季節が違うと、料理に使う野菜や魚も違います。最近は、魚や野菜や果物などを外国から輸入することが増えています。また、自分で料理を作らないで、店で買ったり食べたりすることも増えていて、少しずつ食事の文化が変わってきています。

問い３　日本の食事について、合っているものはどれですか。

A　スープと３つの料理がなければなりません。

B　最近、日本の魚や野菜などを使っていません。

C　料理を見たとき、季節がわかるように作るのがいいです。

D　自分で料理を作って食べる文化に変わってきています。

（４）ある町で、人々は野菜や米を育てて生活していました。しかし、冬はたくさん雪が降るので、仕事ができません。お金がなくて、みんな困っていました。そんなとき、ある人が「めがねを作る仕事なら、家の中でできる」と考えたのです。その人は、大阪からめがねの先生を連れてきました。町の人たちは、先生からめがねの作り方を習って、冬の間、めがねを作る仕事をするようになりました。今、その町には600以上のめがねの工場があり、日本のめがねのほとんどがそこで作られています。

問い４　文の内容に合っているものはどれですか。

A　その町の人たちは、みんなめがねをかけています。

B　「めがねの先生」は、毎年冬に大阪から来て仕事をします。

C　「めがねの先生」は、その町にめがねの工場を作りました。

D　日本のいろいろな場所で、その町のめがねを買うことができます。

（５）日本には、食べられるのに捨てられてしまう食べ物が１年で646万トンもあります。その中には、レストランで食べきれなかったものや、食べ物の会社がたくさん作りすぎたものもあります。このような捨てられてしまう食べ物はだんだん増えているそうです。そこで、このような食べ物を減らすために、たくさん作りすぎた食べ物を、食べ物が足りない国や人にあげたり、野菜を作るときに土に混ぜて使ったりしています。

問い５　文の内容に合っているものはどれですか。

A　日本では食べられるのに捨てられる食べ物が少ないです。

B　たくさん作りすぎた食べ物は、食べ物が足りない人にあげることがあります。

C　レストランではあまった食べ物を捨ててはいけないというルールがあります。

D　残った食べ物は野菜を作るときに土に混ぜて、全部使います。

問　題

B

Intermediate Level

Ⅰ ＿＿＿＿に入る最も適当なものをA～Dの中からひとつ選びなさい。

1　来年のコンクールで＿＿＿＿になるのが目標だ。

A　１位　　B　１号　　C　１代　　D　１名

2　天気予報によると、＿＿＿＿週末は大雨になるようだ。

A　かえって　　B　せっかく　　C　どうやら　　D　なるべく

3　社員の意見を無視して、社長は海外進出を＿＿＿＿に決めた。

A　強引　　B　強大　　C　引力　　D　重力

4　髪の毛が＿＿＿＿きたので、近いうちに切りに行こうと思う。

A　そって　　B　そろえて　　C　のばして　　D　のびて

5　試合に負けたとき、彼は目に涙を＿＿＿＿いた。

A　浮いて　　B　浮かべて　　C　浮かんで　　D　浮かばれて

6　今日は店内全品２割引！　＿＿＿＿、タバコは除きます。

A　おまけに　　B　さて　　C　しかも　　D　ただし

7　誰もいないうちに、＿＿＿＿お菓子を食べた。

A　ぎっしり　　B　ぐっすり　　C　こっそり　　D　すっきり

8　その時期は、どこへ＿＿＿＿、早めに宿の予約をしたほうがいい。

A　旅行するたびに　　B　旅行するにせよ

C　旅行するように　　D　旅行するを問わず

9　田中さんが会社をやめたのには、＿＿＿＿事情があったに違いない。

A　さしつかえない　　B　たりない

C　もったいない　　D　やむをえない

10　最近、田中さんに笑顔が見られない。悩み事でもある_____。

A　のではないだろうか　　B　どころではないだろう

C　わけにはいかないだろうか　　D　というものでもないだろう

Ⅱ　_____とほぼ同じ内容のもの、または、_____と最も関係のあるものをA～Dの中からひとつ選びなさい。

1　一日おきに現場の状況を報告してください。

A　早朝に　　B　二日に一度

C　２４時間ごとに　　D　明日になったら

2　留学しようと決意した以上は、あきらめずにがんばることが大事だ。

A　決意したくせに　　B　決意したからには

C　決意したせいで　　D　決意しただけでは

3　今日は、お招きいただき、ありがとうございます。

A　呼ばれて　　B　呼んであげて

C　呼んでくれて　　D　呼んでさしあげて

4　山田さんは、海で泳いでいたとき、溺れて死にかけたそうだ。

A　死んでいる　　B　死ぬところだった

C　死んでしまった　　D　死んだところだ

5　このアニメ作品は、子どもはもとより、大人も楽しめる内容だ。

A　子どもであるから　　B　子どもよりもむしろ

C　子どもにかわって　　D　子どもはいうまでもなく

6　ここ数年、都市の住宅価格は上がる一方だ。

A　変わりつつある　　B　大きくなりすぎた

C　高くなるばかりだ　　D　上昇せざるをえない

7　昨日は思いがけずあわただしい１日になった。

A　規則正しい　　B　いつもと変わらない

C　なつかしい　　D　色々な用事が入った

8　学校から連絡があって、台風のため、明日の遠足は延期とのことです。

A　延期だそうです　　B　延期したほうがいいです

C　延期すべきです　　D　延期というものです

9　あしたの約束なんだけど、別の日にしてもらえないかなあ。

A　どけてほしい　　B　つるさないでほしい

C　ずらしてほしい　　D　やぶらないでほしい

10　緊張しすぎて、何も考えられなくなった。

A　顔が真っ赤になった　　B　頭が真っ青になった

C　顔が真っ黒になった　　D　頭が真っ白になった

Ⅲ　＿＿＿＿に入る最も適当なものをA～Dの中からひとつ選びなさい。

1　客：「面接の時に着るスーツをさがしているんですが、どんなのがいいですかねえ。」

店員：「＿＿＿＿。これなんかどうですか。」

A　そうですよ　　B　そうですねえ

C　どうしましたか　　D　どうもねえ

2　山田さん：「そろそろ帰るよ。」
田中さん：「あ、今から晩ご飯作るから、よかったら食べていってよ。」
山田さん：「＿＿＿＿＿」
田中さん：「たいしたもの用意できないけど。」

A　え、いいの？
B　今日は早く帰らないといけないから。
C　どうしようかな……。やっぱり、遠慮しておくよ。
D　今、そんなにお腹すいていないんだ。

3　山田さん：「先生、ちょっと気分が悪いんですけど……。」
先生：　「顔色が悪いですね。誰か山田さんを保健室に＿＿＿＿＿。」
田中さん：「私が行きます。」
先生：　「じゃあ、お願いします。」

A　連れてきてもらえませんか
B　連れてきてさしあげませんか
C　連れて行ってもらいませんか
D　連れて行ってあげてくれませんか

4　山田さん：「聞いて！　また恋人とけんかしたんだけど。」
田中さん：「今度はどうしたの？」
山田さん：「天ぷらにかけるのは、しょうゆかソースかで意見が合わなくて。」
田中さん：「＿＿＿＿＿。心配して損したなあ。」

A　なかなか難しいよね
B　なんだそんなことか
C　それは重要な問題だよね
D　私は塩をかけるかな

5　田中さん：「すみません。これ、ここで買ったお皿なんですけど、ひびが入っていて。同じものと換えてもらえますか。」
お店の人：「大変申し訳ありません。すぐに新しいものと換えさせていただきますので、少々お待ちください。」
田中さん：「はい、お願いします。」
お店の人：「どうぞ。こちら、同じ商品でございます。」
田中さん：「あれ？　これも、ここの部分がかけていますよ。」
お店の人：「あ、本当ですね。誠に申し訳ございません。あいにく同じお皿はもうこの１枚だけで……。＿＿＿＿。」
田中さん：「ああ、これ、色もきれいだし、少し大きめですね。じゃあ、これをいただくことにします。」
お店の人：「ありがとうございます。」

A　こちらのよく似た感じのお皿はいかがでしょうか
B　早速、同じものを取り寄せさせていただきます
C　支店には置いてあるかもしれませんので、一度確認いたします
D　今後はこのようなことがないように十分気をつけます

Ⅳ　＿＿＿のひらがなと同じ漢字で書くものを A～Dの中からひとつ選びなさい。

1　ゆ断すると、危ない。
A　勉強しないで あそ んでばかりいる。
B　水と あぶら は混ざりにくい。
C　お風呂で熱い ゆ に入った。
D　何人かの とも だちに電話した。

2　２０歳のときに けっ 婚した。
A　髪にリボンを むす ぶ。
B　待ち合わせの場所を き めよう。
C　けがをして、 ち が出た。
D　大学で けい 済学を勉強している。

3　植物の<u>かん</u>察をする。

A　自然<u>かん</u>境の保護に努めます。

B　コンサートの<u>かん</u>客は200人ほどだった。

C　民<u>かん</u>企業で働いています。

D　その話を聞いて、とても<u>かん</u>心した。

4　彼は今日まで<u>そう</u>当の練習をしてきた。

A　これは安全のための<u>そう</u>置です。

B　日本に行く友人を<u>そう</u>別しました。

C　会議で２人の意見が<u>そう</u>違した。

D　あのボートは<u>そう</u>作が難しい。

5　先生に宿題を<u>てい</u>出した。

A　明日は<u>てい</u>休日だ。

B　このパソコンの<u>てい</u>価は８万円だった。

C　もっといい計画を<u>てい</u>案しよう。

D　質問に<u>てい</u>寧に答えてくれた。

Ⅴ　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から最も適当なものをひとつ選びなさい。

「成功」とは、日々の暮らしの中で、出会った人や所属している組織やグループと、自分とがマッチしていること、ぴったり一致していることだと私は考えています。

組織やグループというのは、職場だけではなく家族にも当てはまります。組織も家族も、人の集まりだからです。そこがすごく居心地が良くて嫌なことがない、といった状態です。（１）<u>こうした状態</u>には、なかなかなれないのかもしれませんが、これが成功と密接に関係しています。

私はさらに究極的には、「成功とは、今ではなく晩年どうなるか、ということに尽きる」と感じています。たとえば、８０歳や９０歳になっても、元気で充実した暮らしをしている人はたくさんいますが、昔からそうだったとはかぎりません。たとえ周囲との人間関係の中に、自分の居場所がずっとなかったとしても、晩年にそうした場の中にいることができるか、です。

今いる場所や集まりと、自分とが調和するためには、二つのことが必要です。それは、「周りを裏切らないこと」、そして「（２）自分を裏切らないこと」です。

その二つがうまく両立できたときに、幸せや成功という状態になります。周りと自分を裏切らない、という二つは時に矛盾しますし、ハードルが高いことですが、これらを両立できる方向を目指すことでしょう。

「周りを裏切らない」というのは、たとえば「悪いことをしない」といったことは当たり前として、周りの期待に応えること、自分に期待されている、希望されている、望まれていることに応えられることです。

そして、「自分を裏切らない」というのは、自分がやっていることに違和感を持ったり、おかしいと感じたりしていないことです。自分がやっていることに自分自身で納得できるか、やっていることに価値がある、意味があると感じられるのか。そこがポイントです。

これらがつまり、周りの期待にも応えて、自分でも納得している状態です。

この二つが一致しているかどうかは、実は目の前に来ている流れに、乗って良いかどうかの判断材料にもなります。自分を裏切っておらず、周りも裏切ってなければ、やりたいことと周囲の期待が一致しているわけですから、そのまま迷うことなく流れに乗れます。

一方、ためらいがあると、大きなチャンスが来たときに、ブレーキを踏んでしまいます。「これは荷が重い」「（３）＿＿＿＿＿＿＿」「まだ早い」と思うからです。

普通は、この二つは一致しません。周りの期待に応えるために自分を裏切ったり、妥協したり、逆に自分を貫くために周りの期待に応えられないといったことは多いでしょう。そのギャップをどう埋めていくかです。

（４）これは、どういう単位の組織やグループにも、当てはまります。家族、組織、国など、どういう単位でも、この二つをどのように両立させるか、いかにその矛盾の折り合いをつけるかに尽きます。

逆に言うと、その二つが一致していることは、大変幸せでもあり、成功している状態です。自分のやりたいことをやって、周りの期待にも応えているという状態だからです。

ただし成功は、幸せと同様に、「こうなったら終わり、ゴールだ」というものではありません。完成するものでもありません。仮に現在がその二つが両立した状態から遠いとしても、そうした方向に向かってさえいれば、前に進んでいるということになります。

（羽生善治『結果を出し続けるために』より、一部表記を改めた）

問い１　下線部（１）こうした状態 とはどのような状態ですか。

A　組織やグループが人の集まりである状態。

B　組織やグループが職場だけでなく家族にも当てはまる状態。

C　職場や家族が組織やグループとなっている状態。

D　組織やグループが居心地が良くて嫌なことがない状態。

問い２　下線部（２）自分を裏切らないこと とはどのようなことですか。

A　自分がやっていることに違和感を持つこと。

B　自分がやっていることに納得しないこと。

C　自分がやっていることに意味があると感じられること。

D　自分のやっていることがおかしいと感じられること。

問い３　下線部（３）に入るものはどれですか。

A　自信が持てない

B　ぜひやってみたい

C　それはうらやましい

D　とても幸せだ

問い４　下線部（４）これ とはなんですか。

A　「周りを裏切らないこと」と「自分を裏切らないこと」とが同じものであること

B　「周りを裏切らないこと」によって「自分を裏切らないこと」が簡単になること。

C　「周りを裏切らないこと」と「自分を裏切らないこと」とがめったに一致しないこと。

D　「周りを裏切らないこと」によって「自分を裏切らないこと」の意味がわかること。

問い５　この文章の内容に合っているものはどれですか。

A　自分のやっていることに納得できて、周囲の期待に応えられている状態のとき成功しているといえる。

B　周りを裏切らない人は、組織やグループに居場所があるので成功している状態であるといえる。

C　周囲を裏切らないことと、自分を裏切らないことはいつでも両立することができる。

D　目の前の流れに迷わずに乗ることが成功する上で大切なことである。

問　題

C

Advanced Level

Ⅰ ＿＿＿＿＿に入る最も適当なものをA～Dの中からひとつ選びなさい。

1　友だちが田舎に帰ってから、連絡が＿＿＿＿＿と途絶えてしまった。
A　ぽっかり　　B　ぱったり　　C　しょんぼり　　D　がっかり

2　父は３０年前に買ったカメラを＿＿＿＿＿しながら、今も大切に使っている。
A　手分け　　B　手引き　　C　手入れ　　D　手当て

3　祝賀会用のジュースは３＿＿＿＿＿も買っておけば、十分足りるだろう。
A　ダース　　B　ピース　　C　ロール　　D　レース

4　今回、失敗に終わったのは私のせいだ。本当に＿＿＿＿＿ない。
A　面目　　B　またと　　C　味気　　D　この上

5　困っている人がいるのに＿＿＿＿＿顔で、誰も助けようとはしなかった。
A　素　　B　知らん　　C　したり　　D　浮かぬ

6　この問いに対する山本さんの答えは、当たらずとも＿＿＿＿＿ですね。
A　遠し　　B　遠くなり　　C　遠かりき　　D　遠からず

7　限定商品の購入は、早く行って並んだ者＿＿＿＿＿だ。
A　向け　　B　好き　　C　勝ち　　D　押し

8　あの人は愚痴ばかり＿＿＿＿＿いる。
A　唱えて　　B　つけて　　C　たらして　　D　こぼして

9　＿＿＿＿＿ではなかったとしても、彼のしたことは到底許されるものではない。
A　故意　　B　任意　　C　失意　　D　鋭意

10　こうやって私が生きてこられたのも、両親＿＿＿＿＿ことだ。
A　ありの　　B　あるの　　C　あったの　　D　あっての

Ⅱ ＿＿＿＿とほぼ同じ内容のもの、または、＿＿＿＿と最も関係のあるものをA～Dの中から一つ選びなさい。

1　それぐらいのことでむきになるなんて、ちょっと大人げないですよ。

A　幼くなる　　B　がっかりする　C　興味をもつ　D　腹を立てる

2　難航すると思われた問題は、意外とすんなり解決した。

A　心もとなく　　B　障害もなく　　C　絶え間なく　D　物足りなく

3　田中さんに仕事を依頼したところ、二つ返事で引き受けてくれた。

A　こころよく　　B　迷った挙げ句

C　いやいやながら　　D　難色を示して

4　私の場合、コツをつかむまでちょっと時間がかかりました。

A　概要に着目する　　B　要領を飲み込む

C　要点に執着する　　D　要約をやり遂げる

5　人と話すときに、ずっと敬語を使い続けるというのもよしあしだ。

A　損はしない　　B　いい結果を招く

C　妙案だと言える　　D　利点もあるが欠点もある

6　さっき山本さんがね、チャイムが鳴ったとたんに、教室を出て行ったんだ。

A　鳴るが早いか　　B　鳴ったが最後

C　鳴ったかたわら　　D　鳴ってからというもの

7　今日はあなたの本音を聞きたいと思っています。

A　生い立ち　　B　正式な呼称

C　歌うときの声　　D　正直な気持ち

8　彼はどちらかと言うと、無口な人だ。

A　秘密を話さない　　B　おしゃべりを好まない

C　文句を言わない　　D　話題が尽きない

9　今、私のクラスではその話で持ちきりになっている。

A　言いそびれている　　B　秘密になっている

C　話題になっている　　D　忘れられている

10　明日は大事を取って仕事を休むことにした。

A　覚悟を決めて　　B　焦らないようにして

C　状況を軽く見ないで　　D　重要なことがあるので

Ⅲ ＿＿＿＿＿に入る最も適当なものをA～Dの中からひとつ選びなさい。

1　先生：「このレポートは受け取れませんよ。締め切りは今日の５時だと言ってたでしょう？」

学生：「３０分遅れただけなんですけど。」

先生：「＿＿＿＿＿。遅れたんですから。時間を守るのは最低限のルールですよ。」

学生：「すみませんでした。実は、大学に来る途中で、自転車のタイヤがパンクしてしまったんです。これからは十分気をつけますので、何とか受け取っていただけませんか。」

A　３０分でも１時間でも同じことです

B　自転車なんかで来るからですよ

C　１０分程度なら大目に見てあげたのですが

D　どうして３０分も遅れたんですか

2　田中さん：「先生、この前の経済学についてのレポートはもう見ていただけましたでしょうか。」

先生：　「ええ、なかなかのものでしたよ。」

田中さん：「＿＿＿＿＿。少しデータが少ないかなとも思うんですが……。」

先生：　「それなら、今はネットでたくさんの資料が公開されていますから、それを利用してみてはどうでしょう。」

田中さん：「はい。一度、探してみます。」

A　え、そんなにひどいですか

B　では、どんなテーマを選べばいいでしょうか

C　ありがとうございます

D　申し訳ありません

3　上司：「会社の創業２０周年パーティーの招待状、送った？」
部下：「＿＿＿＿＿」
上司：「この前の会議で、送り先リストに北野コーポレーションが抜けてるって言われてたけど、それは大丈夫？」
部下：「あ、そういえばそうでしたね。リストを更新するの忘れてました。」
上司：「もしかして、定年退職された役員の方にも？」
部下：「え、定年退職された役員にも送るんですか。」
上司：「おいおい、しっかりしてくれよ。どこがちゃんとなんだよ。」
部下：「すみません。」

A　すみません。まだ定年退職された役員にしか送っていません。
B　はい、ちゃんと出しておきました。
C　３日前に社内の役員には全員送りました。
D　まだです。どこに送ったらいいですか。

4　山田さん：「あの、先日、この本を借りたんですけど。」
図書館の人：「あ、返却ですね。こちらにどうぞ。」
山田さん：「いえ、まだ全部読めていないので、もう少しお借りしたいんですが。」
図書館の人：「じゃあ、延長ですね。利用証、お持ちですか。」
山田さん：「はい。」
図書館の人：「ちょっと確認しますね。あ、この本は、もう次の予約が入ってますね。どうされますか。」
山田さん：「それじゃあ、＿＿＿＿＿。」
図書館の人：「できますよ。そのように手続きしますので、こちらの用紙に記入してください。返却されたら、すぐにご連絡いたします。」

A　その人から直接借りることはできますか
B　その人の次に借りることはできますか
C　その人より先にもう一度借りることはできますか
D　その人の連絡先を教えてもらうことはできますか

5　田中さん：　「もしもし。すみません。田中一郎と申しますが。」

ホテルの従業員：「はい。」

田中さん：　「先ほどインターネットから、６月１１日の予約を間違ってキャンセルしてしまったんです。」

ホテルの従業員：「はい。」

田中さん：　「それで、本当は６月１８日を取り消したかったので、６月１１日は残していただいて、１週間後の予約をキャンセルしていただけないでしょうか。」

ホテルの従業員：「少々お待ちください。……お待たせいたしました。それではそのように処理いたします。＿＿＿＿。」

田中さん：　「はい。合っています。ありがとうございます。それで、料金はどうなりますか。」

ホテルの従業員：「料金は、インターネットでご予約の時のお値段になります。」

田中さん：　「ああ、よかった。」

ホテルの従業員：「それでは、お気をつけてお越しくださいませ。」

A　６月１８日にご宿泊ということでよろしいでしょうか

B　私、山田がうけたまわりました

C　そのほかにご不明な点はございませんでしょうか

D　今、田中様の御予約はひとつで間違いございませんでしょうか

Ⅳ　＿＿＿のひらがなと同じ漢字で書くものを A～Dの中からひとつ選びなさい。

1　ようやく麻＿すい＿から目が覚めた。

A　朝から＿すい＿事や洗濯などの家事をこなす。

B　酒を飲み過ぎて、＿よ＿ってしまった。

C　先生に＿すい＿薦状を書いてもらった。

D　水道から水が＿た＿れている。

2　空気が入って、＿ぼう＿張した。

A　今週は特に＿いそ＿がしい。

B　子どもが＿あばれ＿ている。

C　かばんが大きく＿ふくら＿んでいる。

D　睡眠を＿ぼう＿害された。

3　４月から東京の本社に＿ふ＿任することになった。

A　現地へ＿おもむ＿く。

B　自然に＿と＿んだ町だ。

C　胸に名札を＿つ＿ける。

D　布団を＿し＿いて寝る。

4　ここに２週間＿たい＿在する予定だ。

A　朝から交通が＿とどこお＿っている。

B　彼の＿たい＿慢により、仕事が遅れた。

C　無理な＿たい＿勢は腰を痛める。

D　定年になったので、職を＿しりぞ＿いた。

5　銀行にお金を預けると、＿り＿息が付く。

A　彼に言うことは＿り＿屈が通っていない。

B　兄よりも弟の方が＿り＿口だ。

C　先日、友人が＿り＿婚した。

D　仕組みを＿り＿解してから実行する。

Ⅴ　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から最も適当なものをひとつ選びなさい。

そもそも人間が生きているかぎり、多かれ少なかれ限界や挫折(ざせつ)*1というものは必ずやってくるものです。

それを乗(の)り越(こ)えるための心構えを少しずつ養っておく必要があるのですが、いまの学校では、「君たちには無限の可能性がある」というようなメッセージばかりが強くて、「人には誰(だれ)にでも限界がある」「いくら頑張(がんば)ってもダメなことだってある」ということまで

は、教えてくれません。

子どもたちを傷つけてはいけないとか、子どもはみんな可能性を秘めているといった考えからなのか、いまの学校では、むかし以上に競争を最小限に抑えようという雰囲気があるようです。評価も本当はしているはずなのに、それが表からは見えにくいような工夫がなされています。でも、一方で社会はいま、むかし以上にものすごく競争がきつくなっている「評価社会」なのです。

こうしたズレがあるので、社会に投げ出されたときに（１）ものすごいギャップを感じてしまうわけです。挫折や限界にいきなりぶつけられたら、人はどうしていいか戸惑ってしまうでしょう。学校にいる間だけは社会の辛い波風にはさらしたくないというのは、一見いかにも子どもたちのことを考えているようで、じつは本当のところで子どもたちの将来についてきちんと考えていない無責任な態度といえるかもしれません。

このギャップについては、卒業した私の教え子たちも、いろいろな形で言ってきます。だから、学校文化の中でもある程度、どんな人間にも限界があるということ、将来挫折というものを体験したときにどうしたらいいのかということについて、知識としてもあるいは体験としてももっと教えてもいいのではないかと思います。「無限の可能性」だけを煽って[*2]、子どものセルフイメージを肥大化させるだけでは、やはりまずいんじゃないかなという気がします。

それは家庭の教育においても同じことが言えると思います。

こうした問題に関連して、子どもたちにぜひ伝えなければならないなといつも考えていることが二つあります。

それはどんなに自分が出来ると思っていることにでも、世の中には必ず「上には上がいる」ということ、そして「どんな活動のジャンルにも、ものすごく努力して一流をめざそうとしている人とそうでない人たちがいる、活動のジャンルそのものには貴賤[*3]はない」ということです。

勉強で良い成績をとったり、何かの活動で優れた評価をされたときには、もちろん褒めてあげることはとても大事なことです。でも折に触れて、世の中にはもっともっと優秀でもっともっと努力している人たちがいろいろな分野でたくさんいるということを子どもに教えることも、とても大切なことだと私は考えています。

自分がどんな狭い世界でもいいからとにかく一番でいたいという気持ちが強い子は確かに向上心があるという良い面がある反面、自分が一番になれない場合、自分より優れた人間の足を引っ張ろうとするような良くない面を持ちがちなものです。勉強が出来る子、親に大事に育てられていそうな子、ちょっと容姿がかわいい子などがいじめのターゲットにされがちな傾向がいま強いのは、こうした自分の限界や挫折を知らない子どもたち、あるいはなかば知っていながらそれを認めたくない子どもたち、教育者の諏訪哲二

さんの言葉を借りれば（２）「オレ様化する子どもたち」が増えてきたからでしょう。

しかし大人になるにつれて、いろいろな挫折を経験して自分の限界を知ったり、自分より優れている人間がこの世にはたくさんいるということを知らされたり、自分が思っているほどには自分は大した人間ではないということをいやでも思い知らされたりします。

これを私は人生の「苦味」とよんでいます。こうした苦味に耐え切れずにルサンチマンの淵に落ちたまま這い上がって来れないような人間にだけはなって欲しくはないものです。

苦味というものをどうしても噛みしめざるをえないのが大人の世界なのです。

でもその苦味を味わうという余裕が出来てこそ、人生の「うま味」というものを自分なりに咀嚼＊4できるようになるのです。挫折の無い人生なんておよそ考えられません。どんなに優秀で、あるいは家庭的にも経済的にもとても恵まれているように見える人でも、必ずなにかしらの挫折を経験しているはずなのです。しかしそうは見えないとしたら、それは彼（あるいは彼女）がそうした挫折を自分の中で上手に処理して、その苦味をいつのまにか人生のうま味に変えてしまっているからなのです。「人が生きる」ということは本当に（３）そういうものなのだと私は考えています。（中略）

例えば難しい仕事を何とかやりとげた喜びや、組織の中でそれなりにストレスなどを感じながらも評価されるとか、最初は自分には全然向かないと思った仕事がこなせたときに、「あ、自分って案外こういう分野でもできるのかな」というような知らない自分に出会ったりとか。そういううま味は、苦味の先にあるのです。一言で言うと「苦味を味わうことを通して味わううま味」というものを経験できるようになることこそが、大人になるということなのだと思うのです。

（菅野仁『友だち幻想』より、一部表記を改めた）

＊１　挫折：仕事などが途中で失敗すること、そのために気力をなくすこと
＊２　煽る：相手がある行動をするように強くうながすこと
＊３　貴賤：貴いことといやしいこと
＊４　咀嚼：口でよくかんで味わうこと

問い１　下線部（１）ものすごいギャップを感じてしまうわけです とありますが、それはなぜですか。

A　それぞれの子どもたちが持っている可能性には差があるから。

B　学校と親との間で子どもの教育についての考え方が違うから。

C　努力を続けることで大きな仕事につながることがあるから。

D　学校で教えていることと社会のあり方が違っているから。

問い２　下線部（２）「オレ様化する子どもたち」 とは、どのような子どもたちのことですか。

A　自分が一番でないと気がすまない子どもたち。

B　社会的に高い立場の家庭で育てられた子どもたち。

C　自分が失敗することをこわがらない子どもたち。

D　どんなことでも向上心をもって取り組む子どもたち。

問い３　下線部（３）そういうもの とはどういうことですか。

A　子どものときの自分の経験を、他の人のために役立てるということ。

B　大人になると、人生の苦味よりもうま味の方が多くなるということ。

C　大人になると、苦味を経験することに耐えられなくなるということ。

D　自分が経験した失敗も含めて、自分の人生を作っていくということ。

問い４　人生の「苦味」と「うま味」について、正しく説明しているものはどれですか。

A　「苦味」は必ず「うま味」よりも前にやってくるものである。

B　「うま味」とは、大人になるにつれて知るようになる社会の経験である。

C　「苦味」とは、自分が限界を感じた経験などのことである。

D　人生で「苦味」は多くなると「うま味」に変化するものである。

問い５　本文の内容に合っているものはどれですか。

A　子どもの将来にとって、自分の可能性を信じることができるように教えることが大切である。

B　現在、学校と家庭での教育によって、子どもたちは「評価社会」で生きることができるようになっている。

C　子どもたちに、自分にはできないことがあると教えることが必要である。

D　人生のうま味とは、苦味の経験を少なくすることによって作られていくものである。